

登録コード	HM108800	開講年度	2026				
授業題目	免疫・微生物学特別研究					担当教員	小嶋 克彦 他
英文授業名	Research thesis in Microbiology and Immunology					副担当	
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	医学系専攻 博士1～4年
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					微生物学、免疫学に関する専門的知識を獲得するとともに研究課題を解決するための技能を習得する。	
(2)詳細 /Detailed information	微生物学、免疫学に関する最新知識、情報、研究手法を習得し、未解明の科学的課題について明らかにしていく。最終的にその成果を学術論文として発表する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	微生物学、免疫学に関する科学的課題を設定し、解明するための研究方針の立案、研究手法の選定、研究動向の把握について指導する。免疫学的、分子生物学的、生化学的実験手法の習得、得られた結果の解釈や論文執筆についても指導を行い、学生が自ら研究課題を解決する能力を身につけられるよう支援する。						
(4)授業計画 /Course plan	開講期間を通じて研究活動を行う。以下の領域に関連した研究課題を設定して研究が行われる。 ・免疫細胞機能を制御するサイトカイン受容体の代謝機構の解明 ・がん免疫治療薬としての改変サイトカイン分子の開発 研究進捗について毎週水曜日の中間報告会において発表し、教員や教室員との討議を行う。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究活動の積極性、研究内容の理解度をもとに評価を行う。 評価は、「その問題の背景を説明できているか」、「その問題にどのような課題があるのかを指摘できているか」、「それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できているか」等の基準から行い、その上で自分の見解を提示でき、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。以下、要件を満たす毎に「かなり上にある(優)」、「やや上にある(良)」、「水準にある(可)」の順で判定する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書 /Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	関連する研究分野の最新情勢について自主的に調査を行うこと。						
(7)質問,相談への対応 /Questions and requests for advice	担当教員が対応する。						
(8)授業の形式 /Course format	教員の指導の下、実験の立案、実践、結果についての討議を行う。研究進捗については中間報告会において発表を行う。						